

(別紙様式例3)

### 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2022年 2月 28日

事業所名：放課後等デイサービス ガーネットみどりまち

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保			6	・活発な利用者もいるし、学習支援が必要な中高生の利用者も増えてきているので、もっと広いほうが良い。 ・幅広い年齢の利用者さんを受け入れている事業所としては、活動していて狭いと感じる。	3	6	3	2	広さがもっと確保できると、ゆったりと落ち着いて過ごせるのかなあと感じます。	活動に応じて備品配置を工夫し、安全に過ごせる環境整備を行う。利用人数や時間の検討を行う。
	2 職員の適切な配置		3	3	・常勤スタッフがもう一名いるともっと安定すると思う。ただし、常勤が不足しているぶん、非常勤スタッフや学生スタッフを多めに配置していただいているので、随分支援がしやすくなったと感じている。	12	1	0	1		
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備		5	1	・車椅子の利用者は受け入れが難しいと感じる。 ・わかりやすくするために掲示物やレイアウトを意識しているが、工夫の余地はもっとあると思う。	7	3	1	3	一人ひとりの広さの確保が必要だと思えます。	利用人数や時間の検討を行い、一人ひとりの広さの確保を検討する。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保		5	1	・毎日丁寧に清掃しているし、広くはないけれども、子どもの動きを考えてレイアウトを工夫している。 ・掃除は毎日、手を抜くことはないが、生活空間を考えると確保できているか難しい。	10	3	0	1		

業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	3	3		常勤スタッフの一人ひとりが、振り返る機会を与えられている。管理者、児発管それぞれが、忙しい中話をする時間を割いてくれていると感じる。業務日報も振り返りのツールとして適している。						
	2	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施し、保護者の意向等を把握した業務改善の実施	2	3	1	今年度、開所したばかりなので、これから実施し、保護者の意向を取り入れた業務改善を実施する予定である。						
	3	自己評価の結果の公開	2	3	1	今年度、開所したばかりなので、これから公開する予定である。						
	4	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		3	3	第三者による外部評価を視野に入れていなかったため、検討していく予定である。						
	5	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	3	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>Slackを通じて、色々な研修の案内が届いている。ただ、どの研修を受けたほうがいいのかなど、優先順位の判断がまだ自分には出来ないため、自己判断で機会を失っている気がする。</li> <li>しているが、業務時間内でないとなかなか受けられないので、申し訳なく感じる。</li> </ul>						
	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	4	2		アセスメントや日々の子どもの様子から、その子どもに合った支援計画などを作成できている。 非常勤なのでしたことがない。	13	0	0	1		

## 適切な支援の提供

2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	4	2		アセスメントや日々の子どもの様子から、その子どもに合った支援計画などを作成できている。	11	2	0	1		
3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4	2		学習面・生活面双方の観点から支援計画を作成している。						
4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	4	2		担当者によって多少のばらつきはあれど、全員が支援計画に基づいて支援している。	11	2	0	1		
5	チーム全体での活動プログラムの立案	4	2		毎月月初に、翌月の活動プログラムを常勤スタッフ全員で立案している。その際、活動プログラムごとに担当を割り当て、イベント運営の頭づくりをするようにしている。ミーティングでイベントについて相談する機会もある。						
6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	4	2		開所して1年目なので、固定化は殆どしていないと思いたい。	9	2	0	3		
7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	2	4		平日はその日出た宿題に加えて必要に応じて個別課題を、長期休暇では長期休暇用の課題のスケジュールリングをしている。一方、休日はイベントもあるので、あまり課題設定が出来ていないように思う。						
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	6			・毎日必ず打ち合わせをしている。 ・毎日、学生スタッフも含め、細やかな打ち合わせが出来ていると思う。						
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4	2		・支援終了後か、翌朝に情報共有している。毎日必ず出来ているわけではないので、習慣化していきたい。 ・気付いた、気になったことについて共有出来ている。						

	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	3	3	スタッフ間で差があると思う。自分も徹底は出来ていない。					
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	4	2	モニタリング自体は出来ているが、モニタリングの目安期間を守ることが出来なかった。					
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	4	1	管理者や児発管だけでなく、私のような役職のないスタッフも会議に参画できるよう、経験を積んでいきたい。					
	2	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施								
	3	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備								
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	2	4	子ども（の所属する関係機関）によってかなりばらつきがあると思うが、こちらから移行支援をする際には、比較的円滑に行っているように感じる。また、ケース会議などもこちらからの働きかけで実施しているように見える。					
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	2	4	子ども（の所属する関係機関）によってかなりばらつきがあると思う。こちらから移行支援をする際には、比較的円滑に行っているように感じる。					

6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	2	4		子ども（の所属する関係機関）によってかなりばらつきがあると思う。こちらから移行支援をする際には、比較的円滑に行っているように感じる。						
	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	1	1	4	通常の学級に在籍し、ほぼ全員が発達障害またはボーダーラインの子供が利用しているため交流する機会は取っていなかった。	1	3	2	8	まだ、少ししか通ってなく、分かりません。	
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		1	5	今後は検討していく必要がある。						
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4	2		都度書面や口頭で説明をするようにしている。	13	1	0	0		
	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4	2		必ず来所いただき、書面をもとに口頭で確認するようにしている。	12	2	0	0		
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		2	4	保護者の相談には乗るが、ペアレント・トレーニングほどの支援は実施していない。しかし、コロナ感染も落ち着いてきたので、今後は検討していく必要があると思われる。	6	3	1	4		
	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	6			保護者の送迎がある場合、連絡帳と口頭でその日あったことや取り組んだことを、手短ではあるが話すようにしている。 普段送迎がない場合は、連絡帳になるべく細かく記載するよう努めている。	14	0	0	0		

保護者への説明責任・連携支援	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	4	1	1	・自分にはそういった経験はないが、管理者や児発管が時間を取って個別対応しているのを見たことが何度かある。 ・来所の約束がない保護者でも、状況を判断し急遽相談に乗る姿を幾度となく見受けた。電話での相談を受けていることもあった。	10	0	0	4		
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		2	4	お迎え時に、保護者同士が立ち話で意見交換する場を取る時もあるが、わずかな時間なので、今後はコロナ感染も落ち着いてきたので保護者会の開催を検討していく必要がある。	0	4	2	8		
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	6			事業所に設置した意見箱やHUGのメールサービスを活用して、タイムリーに対応している。	8	0	0	6		
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	5	1		個別に対応出来ているほうだと思う。	14	0	0	0		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	6			HUGの機能を活用して、毎月情報提供を充分に行っている。	14	0	0	0		
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	4	2		子どもや保護者の目に留まらないよう、配置に注意している。デリケートな話をする場合にも、別室で小声で話すようにするなど、しっかり配慮出来ている。	14	0	0	0		
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底		6		職員間では共有出来ているが、保護者に周知出来ているかは不明。	9	1	0	4		

非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	4	2		活動プログラムに組み込み、スタッフと利用者共同で避難訓練を実施した。	6	1	0	7	
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	2	4		外部研修の案内が時々ある。					
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	2	2	2	理解はしているが、このような事例がまだない。					
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	2	2	2	理解はしているが、このような事例がまだない。					
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	4	2		まだ事例は多くないが、情報共有するための土台は築かれている。					
	子供の満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか					12	1	0	1
2		事業所の支援に満足しているか					12	1	0	1	まだ、利用してから日が浅く、子供が通所になれていないようで、実質、深くはわからない